

渚西中だより

令和6年12月24日(火) 第4号
枚方市立渚西中学校
校長 野口 明郎

渚西中生の頑張りや成長が感じられた2学期でした

校訓『自律・協調・努力』

今日で2学期が終了しました。たくさんの学校行事がつまった2学期。生徒の皆さんの素晴らしい頑張りや様々な場面で改めて実感しました。

文化祭では、より素晴らしいものを作っていくためには、一人の力だけでなく、様々な意見や考えをもとに多面的・多角的に一つのことを捉えていく力が必要になってくることを感じさせられ、今年の渚西中学校の皆さんでしか作れない、渚西中学校の全ての生徒のための文化祭を見事に開催してくれました。

更に体育祭では、優しく、素直で、そして温かい本校生徒の良さが詰まったどの学校にも誇れる体育祭を作り上げてくれ、生徒一人ひとりの頑張りや可能性を改めて感じたものとなりました。1年生の4月からの成長。2年生の先輩として1年生をリードする安心感。そして、渚西中で最後となる3年生の気持ちのこもった勝ち負けにかかわらず全力を出し切る清々しい姿。どの学年も素晴らしいものでした。

また、普段の学校での取り組みも本当に素晴らしいものがあったと思います。この経験を令和6年度の締めくくり、そして令和7年度につながる助走となる3学期につなげていけるよう、更に支援していきたいと思っています。保護者の皆さまには、本校教育活動への変わらぬご理解・ご支援をいただき、ありがとうございました。令和7年もよろしくお願い申し上げます。

本校のブログでも学校の様子や情報を発信しています

【終業式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】。

①振り返りの大切さ

学期末に行った振り返り。「課題が見られた=反省すべき(ダメだった)」ではなく、「自分が成長できるヒント」と前向きにとらえる思考への変換とそれぞれの成長を感じる振り返りを紹介しつつ、自分の「頑張り」や「成長」にも目を向けることができる、未来につなげることができる振り返りをして欲しい。

②今の自分の行動が未来にどうつながっているのか

第2学年で実施した「職業インタビュー」の中で、現在 FC ティアモ枚方でヘッドコーチをされている大黒将志コーチに質問した中で「中学時代の経験の中でどのようなことが今活かされていますか?」という問いを投げた。大黒コーチはサッカーのW杯日本代表に選ばれた経験を持つ方ですが、次のように答えた。「自分のやりたいことをするために、何をしないといけないのかを考えて行動したことが活かされている。特にサッカーに打ち込める環境を大切にするための進路選択に向けた勉強もそうだった。…」中学校の経験が今の自分につながっていることや、夢や憧れが大きな原動力になったことを伝えてくれた。中学校生活で身につけた考えや行動は将来に必ずつながっている。だからこそ、3年間を大切に。そして、自分で考え行動する原動力となる「なりたい自分」を見つけて欲しい。驚くような夢や憧れでも、途中で変わっても構わない。その気持ちが普段の考えや行動を変え、未来が変わっていく。「なりたい自分」を見つけた皆さんと一緒に3学期のスタートを切れることを期待しています。

